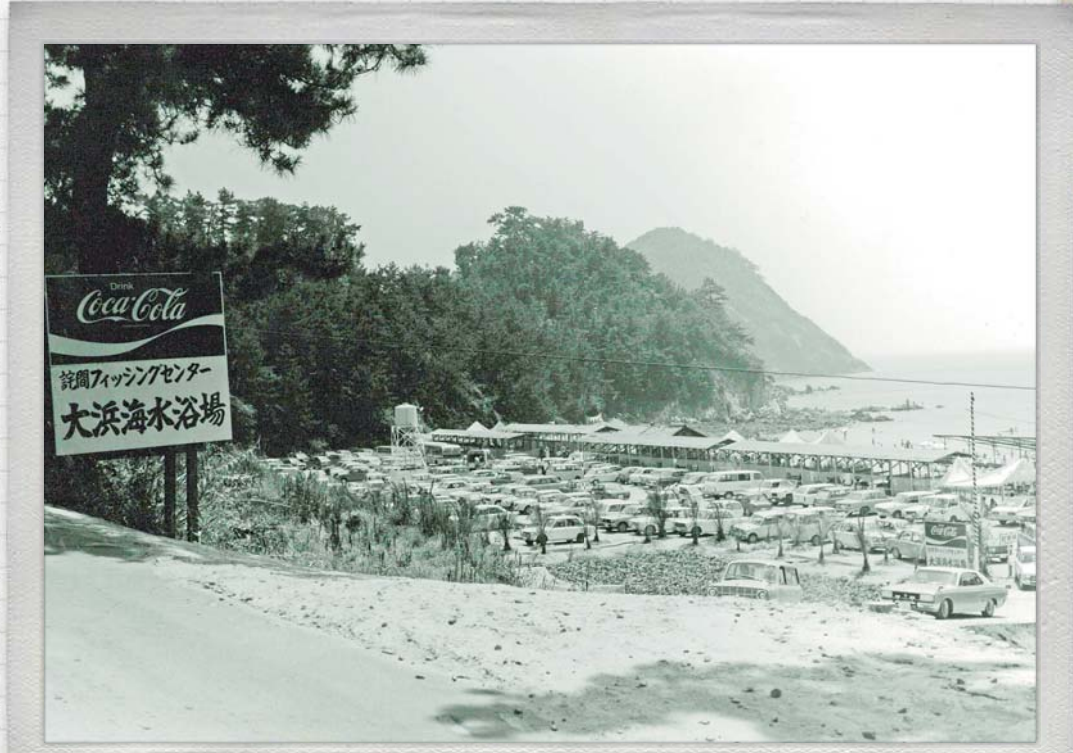




蘇る一瞬 みとよ写真帳 page 31

このコーナーは、文書館に保存している古い写真を皆さんに紹介します。



懐かしの1枚

大浜海水浴場

昭和50(1975)年頃 詫間町

大浜南と鴨之越のバス停の間にあった。駐車場に止められた多くの車から、大勢の海水浴客でにぎわっていた様子をうかがうことができる。平成14(2002)年に閉鎖された。

「思い出の1ページ」

「そうそう、車がいっぱいだったんよ」

大浜海水浴場のすぐ近くに住む江川道子さん(72)は、懐かしそうに話してくれました。

「日曜日は特にすごかったんですよ。駐車場に車が入りきらないんで、みんな道端に止めていました。うちの車庫の前にも止められて、困ったこともありました。それはもう、すごくにぎわっていましたよ。」

私が小さいころには、まだ海水浴場はありませんでしたが、子どもはみんな海で遊んでいました。タライにつかまって沖まで泳いでいくと、上級生がわざとタライをひっくり返して、アップアップしたこともありました。遊んでいるとおなかですくので、いったソラマメを袋に詰めて、それを腰につけて海へ行く子どもいましたね。私はしたことがないけど、塩味がついてやわらかくなるんで、食べやすかったって言っていました。

海水浴場ができてからは、本当に活気にあふれていました。やかましいくらいでしたよ。枚敷がたくさんあって、その横には子ども用のプールもありました。2階建ての食堂もあって、うどんやかき氷がよく売れてい

ましたね。近所の高校生もバイクに駆り出されて、にぎやかでしたよ。
でも、時代の流れででしょうかね。いつの間にか人が来なくなつて、平成14年には海水浴場も閉鎖されてしまいました。あのころのにぎわいが、うそのよう。今はすっかり静かになってしまいました。当時が懐かしいですね」

編集 後記



小学校のPTA総会に保護者として参加していたとき、さぬきっ子安全安心ネット指導員の人が子どものネットトラブルについて事例を交えて話をしてくれました。
私自身、これまで真剣にネットの危険性について考えていませんでしたが、指導員の人の話を聞けば聞くほど、自分のネットに関する知識の甘さと、今の子どもたちには私たちが子ども時代には無かった危険が、すぐ身近に潜んでいることが分かりました。
保護者の皆さん、ぜひ、真剣にネットの使い方について家族で話し合ってみてください。